

会社名	株式会社旅籠屋	上場取引所等	GR
コード番号	4807	本社所在都道府県	東京都
代表者	代表取締役社長 甲斐 真		
問い合わせ先	責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真	TEL (03) 3847-8858	

## 1. 平成 19 年 6 月期 第 1 四半期の業績（平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。  
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。  
 3. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年第 1 四半期	128	(31.8)	38	(43.7)	37	(46.4)
18 年第 1 四半期	97	(9.9)	26	(10.6)	25	(14.0)

	当期純利益		1 株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
19 年第 1 四半期	36	(48.7)	5,911	49	5,191	57	13.5	9.0	29.3			
18 年第 1 四半期	24	(11.4)	4,418	54	3,917	37	14.9	6.4	26.3			

- (注) 1. 期中平均株式数 18 年 9 月期 6,245 株 17 年 9 月期 5,620 株  
 2. 会計処理の方法の変更 無  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
19 年第 1 四半期	430		293		68.0	46,857	11	
18 年第 1 四半期	382		179		46.8	31,884	35	

- (注) 1. 期末発行済株式数 18 年 6 月期 6,245 株 17 年 6 月期 5,620 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年第 1 四半期	40		△6		△11		75	
18 年第 1 四半期	27		51		△60		36	

## 2. 平成 19 年 6 月期の業績予想（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期末	年間
通 期	380	15	10	—	—	—	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 1,601 円 28 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上

# 第 13 期

## 第 1 四半期報告書

(平成 18 年 7 月 1 日から平成 18 年 9 月 30 日まで)



平成 18 年 11 月 2 日

### 株式会社 旅籠屋

---

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

---

# I 当期の業績

## (1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第1四半期 H17.7.1~ H17.9.30	第2四半期 H17.10.1~ H17.12.31	第3四半期 H18.1.1~ H18.3.31	第4四半期 H18.1.1~ H18.3.31	第1四半期 H18.7.1~ H18.9.30	累計 H18.7.1~ H18.9.30		累計 H17.7.1~ H17.9.30
I 営業収益	売上高	97,650	61,412	65,802	89,666	128,694	128,694	+31.8%	97,650
II 営業費用	売上原価	59,082	57,654	62,548	75,496	77,879	77,879	+31.8%	59,082
	販売費及び一般管理費	12,051	12,940	13,514	13,330	12,705	12,705	+5.4%	12,051
	営業利益または営業損失(▲)	26,516	▲9,181	▲10,260	839	38,109	38,109	+43.7%	26,516
III 営業外収益		111	32	33	41	57	57	▲48.6%	111
IV 営業外費用		904	934	714	817	518	518	▲42.7%	904
	経常利益または経常損失(▲)	25,722	▲10,084	▲10,941	62	37,648	37,648	+46.4%	25,722
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		210	—	—	—	—	—	—	210
	税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	25,512	▲10,084	▲10,941	62	37,648	37,648	+47.6%	25,512
	法人税、住民税	680	680	680	876	730	730	+7.4%	680
	四半期(当期)純利益または純損失(▲)	24,832	▲10,764	▲11,622	▲813	36,917	36,917	+48.7%	24,832
	前四半期(前期)繰越損失(▲)	▲145,842	▲121,009	▲131,774	—	—	—	(—)	▲145,842
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲121,009	▲131,774	▲143,397	—	—	—	(—)	▲121,009
	期中平均株式数	5,620株	5,620株	5,620株	6,203株	6,245株	6,245株	+11.1%	5,620株
	1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	4,418円	▲1,915円	▲2,068円	▲131円	5,911円	5,911円	+1,493円	4,418円
	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(注1)	3,917円	—	—	—	5,191円	5,191円	+1,274円	3,917円

(注1) 前年度第2・第3・第4四半期については、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

## (2) 部門別内訳 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

本社(注1)	売上高	5,247	1,698	350	8,157	2,981	2,981	▲43.2%	5,247
	経常損益	▲7,396	▲11,880	▲13,593	▲5,697	▲9,949	▲9,949	▲34.5%	▲7,396
日光鬼怒川店	売上高	14,366	8,340	8,176	6,996	13,730	13,730	▲4.4%	14,366
	経常損益	5,773	1,067	1,073	90	5,562	5,562	▲3.7%	5,773
	客室稼働率	61.8%	53.5%	56.9%	44.2%	60.8%	60.8%	▲1.0p	61.8%
那須店	売上高	11,112	6,535	5,490	6,217	11,209	11,209	+0.9%	11,112
	経常損益	5,258	1,094	573	895	5,168	5,168	▲1.7%	5,258
	客室稼働率	78.4%	66.2%	46.9%	57.3%	79.8%	79.8%	+1.4p	78.4%
秋田六郷店	売上高	5,909	2,978	2,166	4,608	6,160	6,160	+4.2%	5,909
	経常損益	1,325	▲1,333	▲2,033	▲320	1,301	1,301	▲1.8%	1,325
	客室稼働率	56.6%	41.7%	30.0%	58.5%	62.5%	62.5%	+5.9p	56.6%
山中湖店	売上高	14,290	8,374	7,954	8,396	13,875	13,875	▲2.9%	14,290
	経常損益	6,607	1,605	1,546	1,985	6,091	6,091	▲7.8%	6,607
	客室稼働率	87.2%	72.4%	64.3%	76.8%	86.4%	86.4%	▲0.8p	87.2%
沼田店	売上高	8,500	6,947	7,684	6,243	8,063	8,063	▲5.1%	8,500
	経常損益	2,752	599	1,260	850	2,481	2,481	▲9.8%	2,752
	客室稼働率	82.5%	80.4%	91.9%	81.3%	82.7%	82.7%	+0.2p	82.5%
水戸大洗店	売上高	9,820	5,554	5,891	6,557	10,252	10,252	+4.4%	9,820
	経常損益	3,979	235	378	1,358	4,390	4,390	+10.3%	3,979
	客室稼働率	80.1%	64.1%	67.4%	76.5%	82.3%	82.3%	+2.2p	80.1%
北上店	売上高	7,911	4,704	4,248	5,746	7,309	7,309	▲7.6%	7,911
	経常損益	2,505	▲717	▲637	362	2,084	2,084	▲16.8%	2,505
	客室稼働率	80.3%	61.4%	54.0%	74.4%	72.1%	72.1%	▲8.2p	80.3%
仙台亘理店	売上高	7,414	5,298	4,167	5,651	7,959	7,959	+7.4%	7,414
	経常損益	1,959	▲156	▲1,098	165	2,382	2,382	+21.6%	1,959
	客室稼働率	63.8%	65.9%	50.6%	68.9%	73.6%	73.6%	+9.8p	63.8%
小淵沢店	売上高	9,622	6,476	6,158	6,222	9,972	9,972	+3.6%	9,622
	経常損益	3,716	667	598	726	4,145	4,145	+11.5%	3,716
	客室稼働率	85.9%	77.4%	78.7%	76.4%	86.2%	86.2%	+0.3p	85.9%
前橋南店	売上高(運営受託料)	3,454	2,990	3,009	2,550	3,695	3,695	+7.0%	3,454
	経常損益	▲563	▲422	▲310	▲381	816	816	—	▲563
	客室稼働率	51.5%	61.8%	69.2%	58.8%	58.9%	58.9%	+7.4p	51.5%
九十九里店	売上高	—	1,513	5,356	5,243	8,720	8,720	—	—
	経常損益	▲20	▲804	68	356	3,565	3,565	—	▲20
	客室稼働率	—	45.4%	76.6%	67.4%	73.6%	73.6%	—	—
東京新木場店	売上高	—	—	5,148	17,076	24,765	24,765	—	—
	経常損益	▲175	▲40	1,233	▲331	9,606	9,606	—	▲175
	客室稼働率	—	—	97.2%	75.2%	89.1%	89.1%	—	—
全社合計	売上高	97,650	61,412	65,802	89,666	128,694	128,694	+31.8%	97,650
	経常損益	25,722	▲10,084	▲10,941	62	37,648	37,648	+46.4%	25,722
	客室稼働率	72.4%	63.5%	63.2%	67.5%	76.1%	76.1%	+3.7p	72.4%

(注1) 開業前の店舗の損益を含みます。

**(3) 貸借対照表** (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	前年度	前年度	当年度	
		第1四半期末 H17.9.30	第2四半期末 H17.12.31	第3四半期末 H18.3.31	第4四半期末 H18.6.30	第1四半期末 H18.9.30	
<b>(資産の部)</b>	I 流動資産	現金預金	36,057	61,023	28,105	53,120	75,390
		その他	39,051	27,343	33,176	14,221	13,604
		流動資産合計	75,108	88,366	61,282	67,341	88,995
	II 固定資産	有形固定資産	271,447	270,636	271,912	271,512	269,408
		無形固定資産	1,410	2,837	2,806	2,576	2,461
		投資その他の資産	35,022	34,922	34,852	67,252	69,647
固定資産合計		307,880	308,396	309,572	341,341	341,517	
	資産合計	382,989	396,763	370,854	408,683	430,513	
<b>(負債の部)</b>	I 流動負債	49,877	68,604	66,453	55,343	52,832	
	II 固定負債	153,922	159,733	147,598	97,635	84,558	
	負債合計	203,799	228,337	214,051	152,978	137,390	
<b>(資本の部)</b>	I 資本金	281,000	281,000	281,000	—	—	
	II 資本剰余金	19,200	19,200	19,200	—	—	
	III 利益剰余金						
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲121,009	▲131,774	▲143,397	—	—	
	資本合計	179,190	168,425	156,802	—	—	
	負債・資本合計	382,989	396,763	370,854	—	—	
<b>(純資産の部)</b>	I 株主資本	資本金				331,000	331,000
		資本剰余金				68,916	68,916
		利益剰余金				▲144,210	▲107,293
		株主資本合計				255,705	292,622
	II 新株予約権	新株引受権				500	500
	純資産合計				256,205	293,122	
	負債・純資産合計				408,683	430,513	
	発行済株式総数	5,620 株	5,620 株	5,620 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	31,884 円	29,969 円	27,900 円	40,945 円	46,857 円	

**(4) 株主資本等変動計算書** (平成18年7月1日～9月30日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本			株主資本合計	新株予約権 新株引受権	純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 繰越利益剰余金			
平成18年6月30日残高	331,000	68,916	▲144,210	255,705	500	256,205
事業年度中の変動額						
新株の発行						
当期純利益			+36,917	+36,917		
事業年度中の変動額の合計			+36,917	+36,917		
平成18年6月30日残高	331,000	68,916	▲107,293	292,622	500	293,122

**(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項**

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表および損益計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

**(6) 重要な会計方針**

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。均等償却によっています。

(3) 長期前払費用

定額法を採用しています。

2. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

## Ⅱ 第13期（平成18年7月1日～9月30日）の業績の概況

### (0) 本社

前年同期に比べ、主として売上の減少（▲43.2%）により、経常損失が拡大（▲7,396→▲9,949千円）しました。

### (1) 日光鬼怒川店

稼働率（61.8→60.8%）、売上高（▲4.4%）、経常利益（▲3.7%）ともに、前年同期を下回りました。

### (2) 那須店

前年同期に比べ、稼働率（78.4→79.8%）、売上高（+0.9%）は微増しましたが、経常利益（▲1.7%）は微減となりました。

### (3) 秋田六郷店

前年同期に比べ、稼働率（56.6→62.5%）、売上高（+4.2%）は増加しましたが、経常利益（▲1.8%）は微減となりました。

### (4) 山中湖店

稼働率（87.2→86.4%）、売上高（▲2.9%）、経常利益（▲7.8%）ともに、前年同期を下回りました。

### (5) 沼田店

前年同期に比べ、稼働率（82.5→82.7%）は微増でしたが、売上高（▲5.1%）、経常利益（▲9.8%）ともに下回りました。

### (6) 水戸大洗店

稼働率（80.1→82.3%）、売上高（+4.4%）、経常利益（+10.3%）ともに、前年同期を上回りました。

### (7) 北上店

稼働率（80.3→72.1%）、売上高（▲7.6%）、経常利益（▲16.8%）ともに、前年同期を下回りました。

### (8) 仙台亙理店

稼働率（63.8→73.6%）、売上高（+7.4%）、経常利益（+21.6%）ともに、前年同期を大きく上回りました。

### (9) 小淵沢店

稼働率（85.9→86.2%）、売上高（+3.6%）、経常利益（+11.5%）ともに、前年同期を上回りました。

### (10) 前橋南店

稼働率（51.5→58.9%）、売上高（+7.0%）ともに、前年同期を上回り、わずかながら経常黒字となりました。

### (11) 九十九里店

オープンから10ヶ月、今期は夏休みの海水浴客の利用が多く、経常黒字となりました。

### (12) 東京新木場店

オープンから半年が過ぎて、稼働率も上昇（89.1%）し、大きな経常黒字を計上することができました。

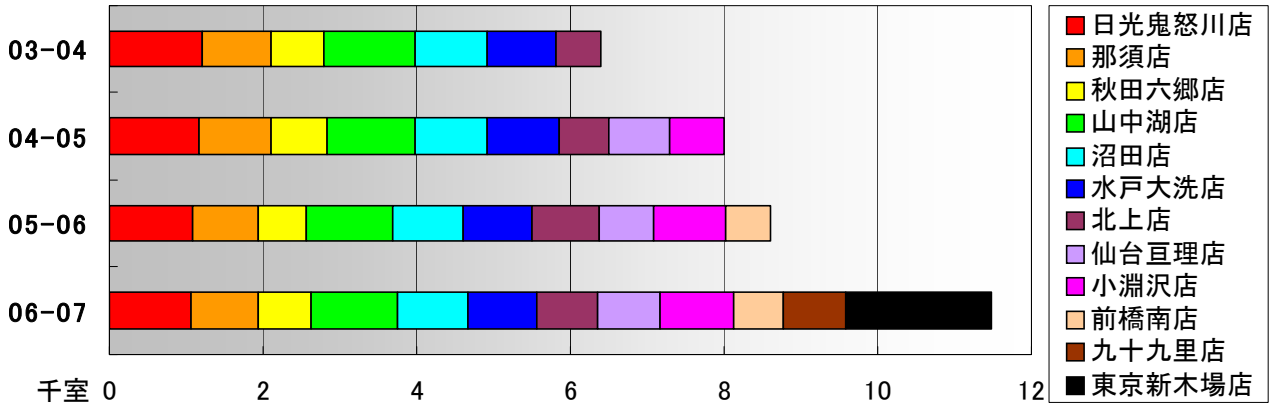
### (13) 全社

本社を除く店舗のみの合計では、稼働率（72.4→76.1%）、売上高（+36.0%）、経常利益（+43.7%）ともに、前年同期を大きく上回りましたが、既存の10店舗に限ると、売上高（▲0.2%）は微減、稼働率（72.4→74.0%）と経常利益（+3.9%）は微増となりました。店舗別に見ると、「北上店」の業績低下と客室単価の減少による「沼田店」「山中湖店」が減益となり、「仙台亙理店」「小淵沢店」「前橋南店」の増収増益がこれらをカバーしている状況です。

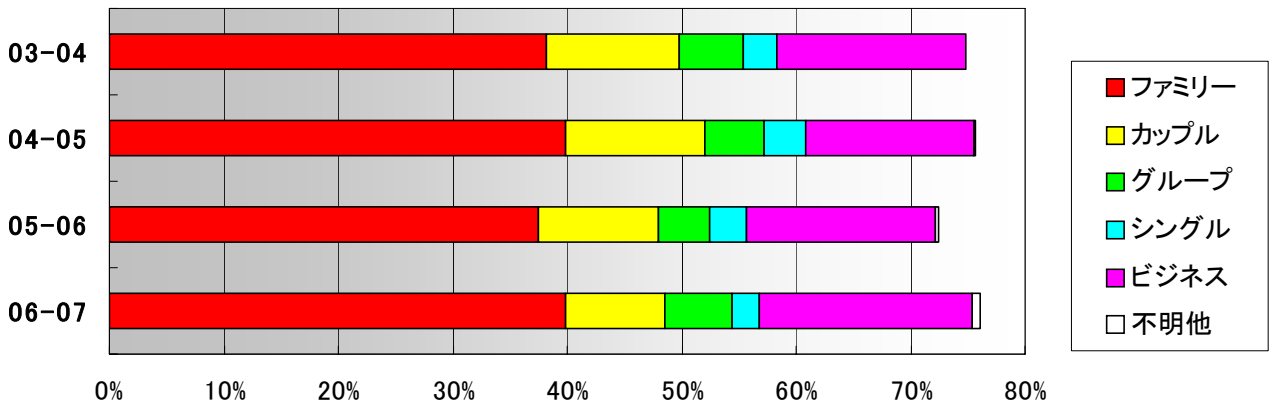
新規オープンの2店舗については、「九十九里店」「東京新木場店」とともに好調で、とくに比較的規模の大きな「東京新木場店」が全体の増収増益に大きく貢献しています。

この結果、本社を含む全社合計では、売上高（+31.8%）、経常利益（+46.4%）、当期純利益（+48.7%）ともに、前年同期を大きく上回る結果となりました。

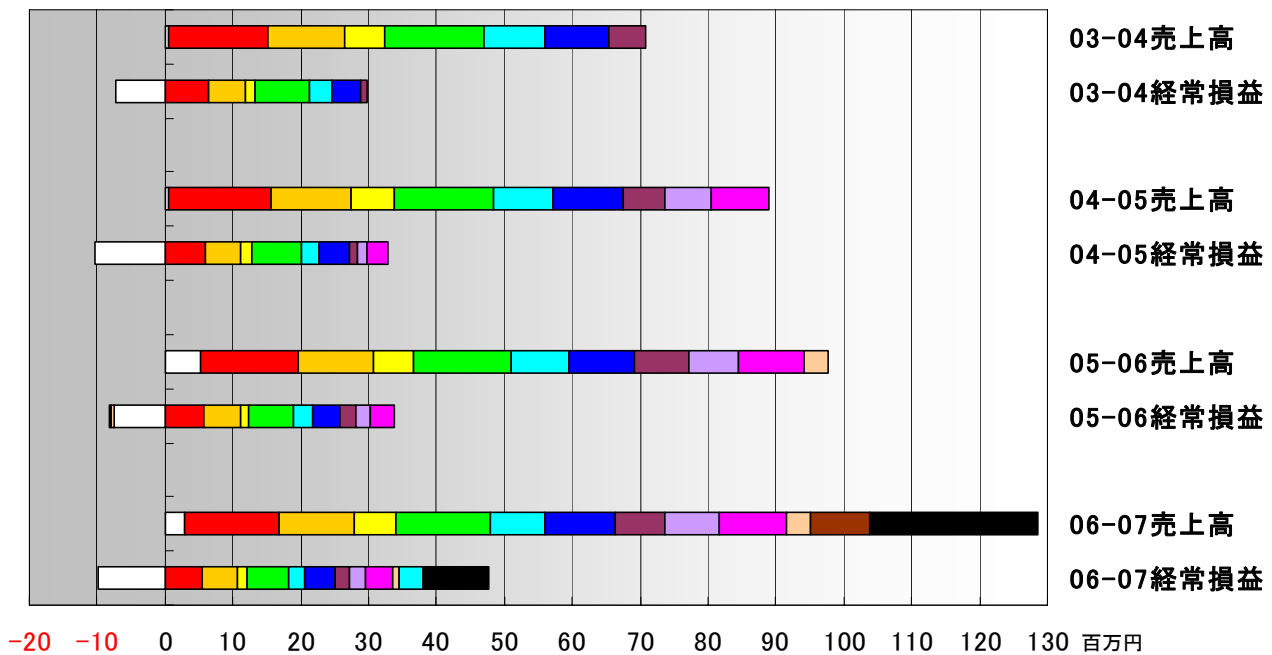
●利用客室数（全店合計、店舗別内訳）の推移（2006.7/1～9/30）



●客室稼働率（全店通算、構成内訳）の推移（2006.7/1～9/30）



●売上高・経常損益（全社合計、部門別内訳）の推移（2006.7/1～9/30）



### Ⅲ 第13期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 通期実績 H17.7.1～ H18.6.30	第13期				
		第1四半期 実績 H18.7.1～9.30	第2四半期 予想 H18.10.1～12.31	第3四半期 予想 H19.1.1～3.31	第4四半期 予想 H19.4.1～6.30	通期予想 H18.7.1～ H19.6.30
売上高	314,531	128,694	83,000	80,000	88,306	380,000
経常損益	4,764	37,648	▲7,500	▲7,500	▲7,148	15,500
当期純損益	1,631	36,917	▲8,700	▲8,700	▲9,517	10,000

前期末における第1四半期予想値(売上高：124,000千円、経常損益：36,500千円、当期純損益：35,300千円)に対し、実績値はいずれもこれを上回りました。

来春3店舗のオープンが決まったため、通期の売上高は上方修正しましたが、出店関連費用の増加が見込まれるため、損益については変更していません。

### Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第2四半期 H17.10.1～12.31	第12期 第3四半期 H18.1.1～3.31	第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30
現金および預金の増減額	+24,966	▲32,918	+25,014	+22,270
現金および預金の四半期首残高	36,057	61,023	28,105	53,120
現金および預金の四半期末残高	61,023	28,105	53,120	75,390

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第2四半期 H17.10.1～12.31	第12期 第3四半期 H18.1.1～3.31	第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30
短期借入金の増減額	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第12期 第2四半期 H17.10.1～12.31	第12期 第3四半期 H18.1.1～3.31	第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30
長期借入金の増減額	+22,848	▲13,386	▲62,717	▲11,385
長期借入金の四半期首残高	190,008	212,856	199,470	136,753
長期借入金の四半期末残高	212,856	199,470	136,753	125,368

借入金の減少は、約定返済によるものです。

## V 今後の事業展開と出店計画について

### 「軽井沢店」「須賀川店」の出店が決定、来春には15店舗に

「千葉勝浦店」に続き、「軽井沢店」「須賀川店」の出店が決まりました。それぞれのスケジュールは以下のとおりです。

- 「千葉勝浦店」・・・着工：10月下旬、竣工：来年2月末、オープン：来年3月中旬（予定）
- 「軽井沢店」・・・着工：10月下旬、竣工：来年3月末、オープン：来年4月中旬（予定）
- 「須賀川店」・・・着工：12月初旬、竣工：来年4月上旬、オープン：来年4月下旬（予定）

これにより、来春には、15店舗となります。

なお、「千葉勝浦店」と「須賀川店」は、業務提携先である（株）リサ・パートナーズと共同で出店計画を進めたもので、「東京新木場店」と同様、土地建物とも同社の所有となります。

また、「軽井沢店」は、「前橋南店」のオーナーによる2店目の出店となります。

### その他の出店計画

上記の3店に加え、来年夏前までに1～2店のオープンを目指しており、各地で打ち合わせを行っているところです。東海・近畿方面を最優先に出店エリアの拡大を図っています。

### 社内態勢の見直し

店舗数の増加と新規出店ペースの上昇に対応し、8月に本社スタッフを1名増員しました。あわせて、業務内容や職務分掌を整理再構成し、情報の共有化や意思の統一を図っているところです。

### 第4次アメリカ視察研修

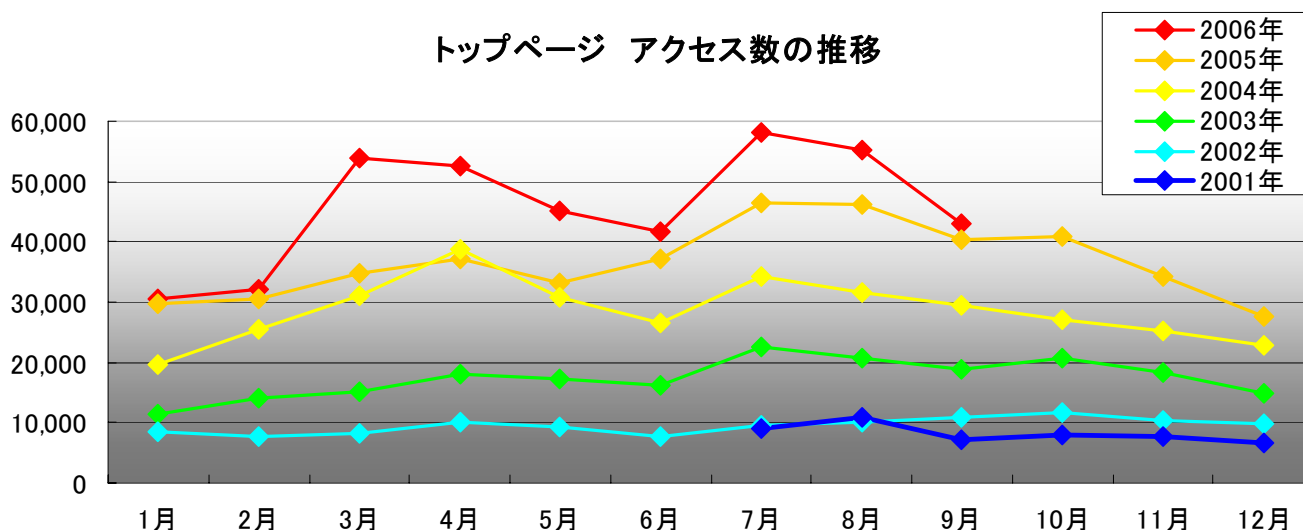
2004年末にスタートさせたアメリカのMOTEL視察旅行ですが、昨年の6月と12月に続き、今年も12月に2店舗の支配人を派遣する計画です。

### 広告宣伝の計画

費用節減のため、広告宣伝は最小限にとどめていますが、今後、以下の雑誌に1頁広告を掲載する予定です。

- 「冬びあ 首都圏版（抜き刷りは高速道路SAにて配布）」 2006年11月中旬 発売予定
- 「日経 Kids+ 1月号」 2006年11月下旬 発売予定
- 「まっぷるマガジン 安くて良い宿 公共の宿 関東周辺 2007」 2007年1月上旬 発売予定
- 「まっぷるマガジン 安くて良い宿 公共の宿 東北 2007」 2007年1月上旬 発売予定

なお、ホームページへのアクセス数の推移は以下のとおりです。



以上